

〔第5回〕

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

サルコペニア・関節疾患の 発症病理に関する研究

運動器疾患研究部

渡邊 研_{部長}

2022年6月21日(火) 14時30分～
第1研究棟2階大会議室

高齢者の日常生活動作を低下させる運動器疾患の中でも、サルコペニアおよび関節疾患は、その分子病理やマーカーが未だ確立せず、そのため効果的な薬物療法などもない。特に変形性関節症・変形性腰椎症はその潜在的な患者数が国内で数千万人という試算からも、早期診断、リスク診断、新規治療法の開発が望まれている。一方、サルコペニアはこれらの高齢者の関節疾患の基盤となっていることが示唆されており、運動器の退行性病変への対策はNCGGとしても重要な課題である。本研究では、病院やメディカルゲノムセンターの協力を得て、バイオバンク試料・情報を用いたヒトでの検討から、マウス遺伝学などを用いた疾患基盤研究をとおしてこれらの運動器疾患の発症病理に関する研究、今回は特に関節疾患の研究について紹介する。

座長：細山 徹 副部長

連絡先：GSRCセンター長室(内線5002)